

やよい

発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会
 会 長 宮 久 保 渡
 編 集 会 報 委 員 会
 事 務 局 〒113-0023
 文京区向丘 1-11-18 向丘高校内
 T E L 03-3811-2022
 F A X 03-3812-4055



宮城、山形県に架かる馬の背を望む 名誉顧問 小川力洋氏 撮影

同窓会活動のご案内 (やよい会)

①同窓会総会

平成 31 年 4 月 21 日 (日)

受 付 11:30 ~

開 始 12:00 ~

会務・会計等の報告・審議

懇親会 12:30 ~ 15:00

場 所 駒込「源気丸」

(旧磯太郎)

北区西ヶ原 1-55-27

T E L 03-5961-5011

会 費 ¥2,000 (他会補助)

申込方法 同封の振込用紙にて、
4 月 12 日 (金) まで
にお振込み下さい。

②全国大会

やよい会 高尾大会

2019 年 5 月 26 日 (日)

時 間 13:15

場 所 「ろくざん亭」

八王子市高尾町 2002

京王線

高尾山口駅徒歩 10 分

TEL 042-661-7827

会 費 3,000 円 (他会補助)

高尾山登山あり

(A コース 3 時間)

(B コース 2 時間)

(集合 9:00 京王線

高尾山口駅改札)

5p に詳細の案内あり。

申 込 同封の振込用紙にて
5 月 10 日 (金) まで
に申し込み下さい。

③学校訪問 (ホームカミングデー)

2019 年 9 月 14 日 (土)

時間 10:00 ~ 15:00

9 月 15 日 (日)

時間 9:30 ~ 15:00

母校向陵祭 (文化祭) 音楽・演劇
・研究発表あり P T A 展示室にて同
窓会作品展あり。一般会員の出展
歓迎 (要連絡。宮久保会長まで)



総合問合せ先

〒171-0032

豊島区雑司が谷 3-14-5

東京都立向丘高等学校同窓会

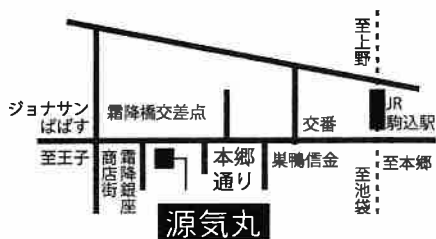
会 長 宮久保 渡

T E L 090-4597-0475

メール miyakubo1405@yahoo.co.jp

ホームページ

東京都立向丘高等学校同窓会



ご 挨拶

高校創立七十周年を経て、同窓会の発展と母校及び在校生の応援のため、皆様方のご支援を宜しくお願いします！



同窓会会長
宮久保 渡

一、はじめに

昭和四十五年卒の宮久保渡です。昨年に引き続き、同窓会財政の充実、名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方及びPTAとの緊密な関係を目指してきました。

そして何よりも母校及び在校生への応援を心掛けてきました。等々、従来の取り組みを踏まえて活動を展開しました。

昨年も卒業生全員に加入して頂きました。先生方のご協力に感謝を申し上げます。

しかしながら、課題もいくつかあり、この克服が必要と考えています。

① 総会への参加人員が少ない。

② 役員と会員・会員同士の交流

が会全体に反映されていない。

③ 全体を網羅する幹事会体制の未整備。

④ 同窓会・同期会などの情報がそれぞれの会員に対し充分行き渡っていないなど、があります。

これらの改善を目指して行きたいと考えています。

会員の皆様のご協力を心からお願いします。

二、総会・懇親会にご参加を

毎年、会報にて同窓会総会日を発表し、事業報告・会計報告・次年度計画の審議などを行い、議事を決議しております。

今年も、学校ではなく、外の会場で総会を開催致します。一般的なパーティー形式です。(お酒あり)

同期会・クラス会・クラブのOB会を開催したいと考えている皆様は、ぜひご参加下さい。同窓会で応援します。

多くの皆様が参加されますようお願い致します。

また、全国大会を今年は高尾山で開催致します。東京にお住まいの方、ハイキングの好きな方はこ

ちらにもご参加下さい。

三、入会金・年会費の拝受

入会金にしましては、一万有余の会員の皆様に、会報発行・発送をさせて頂いております。

年会費のご協力によりまして、会の運営が賄われています。貴重な財産として大切に、かつ有効に活用させて頂こうと感謝申し上げます。尚一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

四、ホームページの充実及び会報「やよい」の全員配布の継続

二十五年度中に、同窓会独自のホームページを作成いたしました。まだまだ不十分ですが、「校歌」、過去のを含め「会報誌やよい」の掲載、また、思い出の写真集として卒業時のアルバムを掲載しました。これは、個人情報保護する立場から「氏名の不掲載」「写真の大きさも本人が見て、かろうじて判る程度」など配慮しています。皆様、卒業アルバムをお貸し頂きたいと思えます。

どうか引き続き会員の皆様のお知恵。ご協力をお願いします。



向丘高校ランドデザイン



校長
栗原 爾

都立高校改革推進計画・新実施計画の中で、「全ての都立高校において、それぞれの特色・強みを踏まえた上で、教育目標や育成を目指す資質・能力をランドデザインとして示し、それに基づいて指導の改善・発展を図ることが必要となる」とランドデザインの必要性が説かれています。

次頁のイラストは、本校のランドデザインの中で最も重要な、「卒業までにできるような力」を表したもので、次の三点を掲げています。

① 自己を高め、自信につなげる力

② 他者を理解し、課題解決に向けて協働できる力

③ 未来を展望し、自らの世界を切りひらくことができる力

そこで、同窓会の皆様に、本校のランドデザインの概略についてご紹介します。

まず、学校としての宣言を二つあげています。一つ目が、環境作り。



- ① 安全で安心な環境を作る
 - ② 相互理解と信頼の環境を作る
安全で安心な環境作りは、生徒が最大限の力を発揮するために必要です。また、相互理解と信頼作りは、生徒・保護者、そして地域の方々とのもので、互いの絆を強固なものとするために必要です。
二つ目が、鍛える場面を共有することです。
 - ① 授業で鍛える
 - ② 授業外で鍛える
次に、入学生に期待すること六点を示し、学校説明会などで中学生に説明しています。
 - ① 覚悟をもって入学する人
 - ② ルール、マナーを守ることができる人
 - ③ 教科書を読み、内容理解に努める人
 - ④ 進路希望を高く持ち、努力する人
 - ⑤ 自分のタネに気づき仕掛けを活用する人
 - ⑥ 特別活動に参加して、楽しむ人
- このような資質・能力を身につけて入学してきた生徒への教育活

動は、「学習指導体制」、「進学指導体制」、「特別活動・生徒指導体制」、「研修体制」として示してあります。ここが核となるところで、たくさん取組があります。たくさんありますが、その目的は「主体性」の育成です。

生徒を鍛える場面の一つ、「授業」では、受け身の学びではなく、「主体的に学ぶ人」の育成に努めます。また、「授業外」の部活動や行事でも同様に、グループの目標達成のために、全員がリーダーシップを発揮し、「主体的に取組む人」の育成に努めます。

向丘高校では、このようなグラウンドデザインをもとに、カリキュラムマネジメントを推進し、イラストのような、これからの社会で活躍できる人材の育成を目指しています。



平成三十年度の

主な学校行事の報告



副校長

山下 一郎

向丘高校同窓会の皆様、平素より様々なご支援、ご協力をありがとうございます。心より感謝申し上げます。
今年度の学校の様子を写真を交えてご報告します。
入学式



平成三十年四月九日に行われました。今年度の入学生は七十三期生となります。暖かな日差しの中で、新入生の表情も晴れ晴れといった様子でした。

体育祭

平成三十年六月八日に、文京区の六義園運動場で開催されました。一日中晴天に恵まれ、どの団も力を合わせて競技に臨んでいました。



文化祭

平成三十年九月十五日と十六日の二日間に渡って向陵祭が開催さ

れました。地域の方や保護者の方、卒業生、中学生等三千人を超える方々に来校していただきました。



修学旅行 (二年生)

平成三十年十二月九日から十一日まで、二泊三日で、二年生が沖縄に行ってきました。沖縄では、ひめゆり平和祈念資料館、糸数壕、平和祈念公園を見学し、夜は宿舎で平和講演で戦争と平和についての話を聞き、平和について考えました。また、シーサーづくりや沖

縄そば、沖縄お菓子などを作って沖縄の文化体験を行いました。



今後とも、向丘高校の伝統を受け継ぎながら、生徒の一層の活躍のために教職員一同尽力して参ります。皆様の御支援を今後ともよろしくお願い致します。



同窓会総会報告

同窓会は、平成 30 年 4 月 22 日（日）12 時より駒込駅近くの和食店で開催されました。

総会は、杉浦副会長の司会で開始され、宮久保会長の挨拶、仙谷幹事長の音頭による校歌斉唱を経て、議事に入りました。議長は、規約に従い、宮久保会長がつとめ、

①報告事項 ア、事業報告（笹山書記）

イ、決算・監査報告（尾道会計・三田監事）それぞれ承認されました。引き続き、②審議事項 ア、事業計画（佐々木会計）イ、予算案（尾道会計）ウ、役員選任（宮久保会長）が提案をされました。それぞれの審議事項について、満場一致で承認されました。

続いて懇親会に入り、栗原校長よりご挨拶を受け、小川名誉顧問より乾杯の発声をもって、和気あいあいの中で進行していきました。来賓として、山下副校長、松浦 PTA 会長等 PTA 現・元役員のご臨席を頂きました。

参加されました皆様は、時間を忘れるほど懇談を致しました。有難うございました。今年も友人をお誘い参加されますようお願いいたします。



やよい全国大会 松本大会報告

松本大会は、30 年 5 月 27 日（日）松本市で開催されました。当日は、12 名の参加で開催されました。地元の方の参加がなく残念でした。松本城など見学してから、駅前の和食店で美味しい料理と地酒を飲みながら懇親を深めました。

今年は、高尾大会を開催致しますので、三多摩の方・ハイキングの好きな方勿論 23 区内の方も多くの参加をお願いします。



やよい全国大会 高尾大会のご案内

2019 年 5 月 26 日（日）時間 13:15

場所 「ろくざん亭」八王子市高尾町 2002

京王線高尾山口駅徒歩 10 分 TEL. 042-661-7827

ハイキング参加者の集合時間 9:05

場所 京王線高尾山口駅改札口

（参考 京王新宿駅 8:07 発、ホーム 7:40 集合、9:02 高尾山口駅着）

登山コース Aコース 頂上まで 3時間（往復）

Bコース 展望台まで 2時間（往復）

幹事 浦野 090-9143-2227 目黒 090-2736-0150

宮久保 090-4597-0475

参加される方は、事前に氏名と携帯番号を必ず連絡して下さい。

（雨天の場合、12:45 高尾山口改札集合。前日に連絡します）※新宿発 11:47（11:30 集合）



ご挨拶

PTA会長
山内 浩恵

日頃より同窓会の皆様には生徒たちへの多大なるご支援とPTAに対するご協力をいただきありがとうございます。

昨年から何かと「平成最後の」という言葉が巷に溢れています。

もしかしたら平成最後の向丘高等学校PTA会長？そんなことがあった時に、毎年PTA活動のひとつで参加している全国PTA連合会全国大会のことを思い出しました。基調講演ではDJレモンさんが軽快なテンポでお話してくださいました。子どもにとつての「信頼の五つ星」①世界一自分をわかってくれる「理解者」②応援してくれている「応援者」③信じてくれる「信者」④認めてくれる「指導者」⑤気づかせてくれる「富んだお話ばかりでした。特に印象に残ったことは「世の中の全て

の意味は、たどつていったら、命のため、命を守るためにある」「あなたの命はあなただけのものではない」「あなたの子はあなたが育てたけれど、あなただけが育てたわけじゃない。子どもが生まれた瞬間から、みんなの大事な命」そして、合言葉は「We are シンセキ！」です。

私は三人の子育て中、産休・育休以外はフルタイムで働いていましたので学校に足を運んだのも最度のものでした。三女は受験を終えた時、都立に行くか私立に行くか、とことん悩んだ末、向丘高等学校に入学させていただきました。この娘の選択が違っていたら、同窓会の皆様とお会いすることはなかったのだ、ご縁というの不思議なものだなと思います。初めて皆様にお目にかかった「源気丸」での同窓会総会以降、会議で一緒に話したり、歓送迎会や向陵祭などでお話しする機会がありました。いつも感じるのは母校を愛するお気持ちの強さでした。向丘の歴史を聞かせていただいたり、近況を伺ったりしているうち、私たちは

卒業生ではないのですが、何か一体感のような絆を感じています。程良い距離感と優しい雰囲気は、きつと同窓会の皆様と歴代のPTA役員が作り上げてくださったものなのですね。私たちの子どもがいずれ皆様のお仲間に入っていただけと思うと、今の高校生活だけでなく、卒業しても所属できる場所があることはとても重要だと思います。卒業してからの人生は、思い描いたとおりにならない方がきつと多いと思います。でも輝く青春時代を共に過ごした仲間と学び舎がどれだけ支えになるかわかりません。向丘高等学校を真ん中にして同窓会の皆様と出会えたご縁を大切にしたいと思います。まさに「We are シンセキ！」です。慈しみの心をかけてもらった子は必ずそれを返していける大人になると信じています。向丘生が希望の明日をつくつていかれるよう、”信頼の五つ星”を心に留め、同窓会や学校そして地域の皆様と力を合わせて生徒の教育環境の充実や学校の発展に尽力していきたいと思います。最後になりましたが、PTA活動を通して、新しい

人間関係を築く機会に恵まれたことは、私の人生にとつて喜ばしいことだと感謝しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

同期会・クラス会だより

東京都立向丘高校

第二十八期の同期会を行つて

昭和五十一年卒

日下部静香（加藤千香子）

平成三十年十月二十日（土）第二十八期の同期会を池袋の「天空の庭」で行いました。

昭和三十二年度生まれの二十八期、二〇一八年の三月で全員還暦を迎えるこの年に、節目として集まろう！という趣旨で開催しましたが、会った瞬間にみな「キャー」「おお！」と歓喜の声。

還暦の貫録も落ち着きという言葉もどこへやら。なにしろ会場では、幹事のメンバーが準備してくれたスライドのおかげもあり、すぐに高校生時代にタイムスリップしてしまいました。クラス写真、

部活写真、昼休みのひとコマ等々。みんな若く、細く（笑）、髪型も長髪あり・リーゼント有りの十八歳がそこには写っていました。目の前の旧友に「え？」と感じたのはみんなお互い様だったと思います。懐かしいその頃の思い出が、次から次にフラッシュバックして、話は尽きません。私たちが入学したころはまだ大学紛争の名残があり、東京大学の赤門の前には難しい言葉や過激な文言の立て看板がたくさんあったころ。その東大の周りを、黙々とランニングしたことも思い出しました。

いつのまにか卒業してから四十二年。卒業式はつい先日“のような気分でしたが、進学、就職、結婚、遠くに転勤・転居、そして孫の誕生、定年退職、再雇用・再就職、趣味の世界の開拓等、改めていろいろな変化が納得できる歳になっていました。今回出欠の返信ハガキに、「近況」や「最近ハマっている趣味」を書いて頂く欄を作りましたが、向丘の卒業生は、みんなまじめでやさしい！ちゃんと書いて返信して下さった方の多いこと。記載頂いた近況をクラス

別にまとめて当日持参しましたが、宴会中は旧友と話しをすることで忙しくほとんど読むことはなかったと思います。でも、帰り際に持ち帰りたいと言ってくれた方が多く、準備した近況報告は全てお持ち帰り頂きましたし、後日読みたいとご連絡いただいたりもしました。あの時間は、ピカピカの高校生に戻ってお互いの今を確認し合い、あつという間の二時間半でした。

三年F組の担任をしてくださった佐藤正典先生にもお越しいたいただき、元気なお姿と私たちへの愛情のこもったご挨拶をいただきました。佐藤先生は今でも、高校生に對して、数学の試験問題を作っておられるとのこと。私たちがボケボケしても先生の頭の中は、まだ数学の方程式などを考えていらつしやるわけで、数学なんてほとんど忘れてしまった私とは全く比較になりません！今年喜寿でありながらテニスクールでは元気に走り回り、コーチに褒められるとのこと。お薬も何も飲んでいないと聞き、思わず「血圧も？」と聞いてしまいました。なんて素晴らし

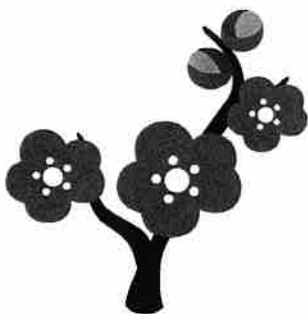


それにしても個性豊かな同期生。ますます元気で、第二、第三の人生を謳歌している姿に感動し、同じ高校で過ごせたことに誇りを感じました。

ご参加いただきました皆様、楽しい時間を頂き本当にありがとうございました。そして今回諸事情でご参加いただけなかった皆様、住所がわからずお知らせできなかった方には、次回は是非ご参加いただけることを願っております。ありがとうございます。

最後に皆様にお願ひです。この会報が届いた時に記載されている「住所不明」になつていらっしゃる方々の連絡先をご存じでしたら、是非同窓会事務局までお知らせください。よろしくお願ひいたします。

い！と感心するとともに、わが身の不摂生を反省した次第です。残念なことに亡くなられた友人を偲び、思い出と共に黙とうをささげる時間もいただきました。そして、次の幹事に次の開催を託し、また元気に会えることを約束しながら二次会へと流れました。



昭和五十二年卒業生同期会 『還暦を記念して』

昭和五十二年卒

坂爪(太田)明子

平成三十年七月十五日(日)に池袋のサンシャインクルーズ・クルーズにて同期会が行われました。三月のとある日小高君から電話がありました。「還暦の年だからそろそろ学年で集まりましょうか。」

一・二年のクラス毎に連絡を取り合える人が気軽に声掛けして、幹事会とか招待状とか無しでやってみませんか。」とこの会は始まりました。そして、各クラス毎に連絡を取り始めると、お年頃ということ、同期会の予感があったというもつぱらの評判となり、こうなったら出来るだけ全員にお知らせしようということになりました。

時代に合わせて、携帯電話、インターネット、メール、ラインなどを活用して、連絡、幹事で相談できました。経費が節約できて、便利な世の中になったものです。

これまで、同期会としては、二十二歳頃の時に第一回、東京プリ

ンスホテルにて開催され、第二回は十五年前に椿山荘にて、第三回が五年前に第一イン池袋で行われています。

クラス会が頻繁に行われているクラスもありますが、同期会としては五年ぶりなので久しぶりです。総勢百二人が集まり、まず小高久登君の挨拶です。レストランの方で写真を撮ってすぐに印刷して全員にくれるというサービスがあったので、全体写真をとりました。テーブルはクラス毎にセットされて、立食パーティーでした。地上五十八階の展望が素晴らしく、懐かしい顔の前で、大はしゃぎとなりました。

洋食のお料理もそれぞれに美味しく、お酒も、ソフトドリンクも飲み放題とあって、わいわいやがや止まりません。女性の参加者のほうが少し人数も多く、還暦ってこんなに元気なんだと、私自身びっくりしていました。

淋しげな人は一人もいません。さすが向丘の同級生です。

「思い出のスライドショー」と題して高校時代の写真と十五年前の写真とを交互に大型スクリーン

に上映するビデオで、ますます大盛り上がりとなりました。音楽はミッシェル・ポルナレフの「シェリーに口づけ」懐かしの曲でアッペンポとあってみんなキャーキャー、ワーワー騒ぎました。岩間徳雄君がプロの技術でボランティアで作ってくれました。

関本知恵さんのマジック、最後に「がおかフレンズ」と称して坂爪啓一君のギターと歌四人でリードし、全員で「卒業写真」「翼をください」「なんとなくなんとなく」を歌いました。そして、校歌も斉唱しました。

ベの挨拶では「次回は十年後に集まりましょう。」とありました。が、会場では「五年後くらいでいいんじゃない?」という声もありました。有難いことに会計の遠藤裕美さんが少しだけ残った活動費を預かってってくれています。

さて、次回はいつ集まれるでしょうか?



二〇一八年の【向丘五十五年会】

昭和五十五年卒

世話人代表 浦野 良一

毎年世話人（幹事）同志での反省会兼ね新年会からのスタートです。

五十五年会全体として初夏（五月～六月）に開催する会の日程と企画を打合せです。（韓国料理コースでマッコリを飲み、ほろ酔いながら賑やかに（笑））

昨年は健康を意識し体を動かそうとハイキングでもどうかと思い、初心者でも気軽に参加できる『高尾山』登山に決定。当日、事前の天気予報では曇り後雨でしたが雨男の私に勝る晴れ女性のおかげで好天気に恵まれ、山頂からは富士山も見られ心地いい汗を流して楽しく過ごせました。（ちよつと余談ですが、私の名前が高尾山中に呼び出し放送が流れ、誰もが普段から悪戯好きのT君だと思いきや自身の財布拾得の為の放送でした。更にその後も続けて帽子も遺失してしまい、T君はじめ皆に迷惑かけてしまいました。改めてお詫び致します（苦笑））

他に、一昨年も活発に集まって

いる分身の『千葉ニュー会』では『お花見会』や『バーベキュー会』に加え新たに、『横浜ぶらり会』も行い大いに親睦を深めています。また、自身の沿線を中心に『小江戸会』を発足。六月にふじみ野にて、十月にはユネスコ無形文化遺産に登録されている『川越まつり』開催日に合わせて、和気あいあいとお祭りとお宴を楽しみました（地酒（鏡山）の升酒は格別に美味しかったです（笑））

昨年もこのように小規模の会も含め、更に親睦を深めております。勿論の事ですが、二〇一八年の締めくくりは『十二月二十九日の向丘五十五年会』です。三十四名のご参加をいただきました。三十九年前の古き良き青春時代の向丘高校在籍時にかえり満面に笑みが溢れる楽しいひと時を皆で過ごすごとができました。

今年も世話人（幹事）【浅野、中野、戸部、新井、大花、東條】達の皆と親交と絆を深め、いつも笑顔で語り合える【向丘五十五年会の輪】を広げていきたいと思っています。

お終りに三年後に私達世代も還

暦を迎えます。こちらの会報誌をお読みいただいている同期生の皆さまへ還暦をお互いに祝う会を賑やかに和気あいあいと執り行いたいと考えております。先ずは毎年十二月二十九日は恒例の会ですのでお気軽にご参加ください。ご連絡先は各世話人（幹事）か私、浦野 良一迄
アドレス：ru0316cmt@gmail.com
ご連絡いただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。



会員のひろば

人生はパッチワークづくり

～民間企業から学校経営へ～

昭和四十五年卒 中村 恵太朗



高校生へのキャリア教育

向丘は、二学区と四学区の多様な生徒が集まり、勉強や部活動、友達関係が程よく、多様性に富んだ居心地の良い楽しい母校でした。また、「何故？」と、疑問に思うことや問題を解決する「考える力」、バランス感覚や社会に目を向け自立する「生きる力」が育まれたと

思います。

私は、大学卒業後、自動車メーカーに就職し、経理、総務、人事、経営企画、国内販売等の仕事に携わり三十年間勤務していました。

定年まで勤めるつもりでしたが、転機が訪れ民間人校長として埼玉県内の小学校に転職しました。平成十七年当時、学校への世間の風当たりは強く、いじめや不登校、学力や体力の低下、モンスターペアレンツ等、様々な問題が学校に向けられていました。家庭や地域の教育力の低下もあり、それらの問題までが学校に持ち込まれていました。私は、「今の学校は一体どうなっているんだ！何とかしなければ」と思い、埼玉県の民間人校長に応募し、縁あって飯能市内二校の小学校に勤務しました。赴任すると、先生方一人々は真面目で子供達への愛情も厚く、熱心に授業を行い、夜遅くまで頑張っていました。しかし、組織的でなく個々の先生にノウハウが蓄積し学校全体の体質強化になりにくい状況でした。また、全ての問題を学校の中だけで完結する傾向が強く、学校からの情報発信も少なく閉鎖的

でした。社会や子供達の変化への対応力も鈍く、何をするにも前例主義、新しい事への抵抗感、競争をさせない風土がありました。

私は、「生きる力」を身に付けさせようと「子供達にとつて是非か」のお客様視点で「学校と家庭と地域が三位一体となつて子供達を育てる開かれた学校づくり」を目指しました。その為に民間企業のマネージメント手法を取り入れ、ビジョンを掲げ、あるべき姿を描き、五〇項目以上の方策と夫々の目標値を策定し、先生方にブレイクダウンしました。先生方とは、良く対話し組織的に課題解決できるように目標管理を行い、学期毎に進捗確認し、家庭・地域に情報公開しながら改革を進めました。「学校応援団」も立ち上げ、PTAや地域の方、プロの方々には授業や部活、安全や環境面等で応援して頂きました。当初、先生方からは「教育は数字では測れない」、「子供たちの負担になる」、「時間がない」等と抵抗されました。しかし、子供達の学力や体力調査、保護者アンケート等の良い結果が見出ると、先生方に自信と意欲が見

られ職員室の雰囲気が変わって行きました。その成果を視察に来る学校や取材もあり先生方は益々やる気になりました。その後、市内の学校にも同じ取組が導入され、校長会長の時には県の校長研修会で研究発表する機会を得る等、七年の勤務で私の役割も果たせた思いがします。

定年後は、お世話になった方々への感謝の気持ちから、「新たな学びにチャレンジして少しでも社会の役に立ちたい」と考えました。そして、今迄の経験から若い人達の自立支援をしたいと思い「キャリアカウンセラー」の資格を取得しました。現在は、親の介護の傍ら、埼玉県就職支援アドバイザーと高校と大学等でキャリア教育の講師をしています。おかげで自らも学びながら若い人達から元気を頂いています。また、趣味の家庭菜園やスポーツ観戦を友人と楽しみ、ボランティア活動や地域の人との関わりを大切にその役割を楽しんでいます。

人は夫々の年代、年齢毎に役割や立場、出会う人々が変わり、それらの経験がパッチワークのよう

に組み合わせられて人生があります。これからも、どんな色と絵柄の人生にしようか夢を見ながら、様々なシーンを「人」という大切な糸で繋ぎ合わせ、人生の「パッチワーク」を作り続けて行きたいと思っています。

山の人生

昭和三十六年卒 田中 正明
球技には球技の楽しさが、武道には武道の奥深さがあるように、山登りには山登りの醍醐味がある。冷気を伴って辺りを肅々とさせるご来光、照りつける太陽の光、沸き上がる勇壮な雲、瞬時に変わる霧、冴えた星々の輝き、風の音、水の流れ、林相、草の臭い、花々、小鳥の声――喘ぎ喘ぎ登れば、森林限界や山頂に達した時、一段と大きな満足感に包まれ、それまでの一歩、気遣い。目や心に映じた情景が強い印象となつて沸き起こってくる。そうして、山行で体験した数々のことどもとが縋い交ぜになり、続く山行に継ぎ送られる。振り返れば、いろいろな山に入っ



た。以下は、「山日記」の一頁である。

九月二十四日、午前三時。私は南アルプス仙丈ヶ岳の二六五〇米地点にある山小屋、「馬の背ヒュッテ」近くの岩に腰を下ろし、満天に輝く星空を眺めていた。北極星を中心に北斗七星、オリオン座などの星座が漆黒の空に輝いている。東京では既に実態を失って久しいが、天空には文字通りの「満天に輝く星」が光っていた。瞬く間に時間が過ぎていった。こうして星々

の輝きを満喫した後、ランプの灯りを頼りに、頂上に向け歩み始めた。頂上へはおよそ一時間半の間を要したが、冷気を裂いて執拗に星々の輝きが迫ってきた。三〇分ほど進んだ地から視界が広がり、遠く街の灯りがほの見えた。方角からすると、富士山の街であるのか。街は未だ深い眠りの中にあるが、処々に見える灯りは暖かく、冴えた光とは異なっていた。しかし、対峙した光の競演はその後四周が白んでくると共に終わりを告げることとなった。一つ一つと星が消え、そのあとは不幸なことに霧が出て視界を失っていった。今しがたの次第からは、全く想像もできないことであつたが。

三〇三三米の頂上には、ご来迎を心待ちにした二・三〇名の登山者が肩を寄せ合っていた。私も所を占めた。北岳の方向から吹き上がった来る風は、冷たく強い。温度計の目盛りは四度を示していたが、体感温度は更に下廻っていると思われた。結局、霧は日の出の時刻になっても晴れることなく、ご来迎を仰ぐことはできなかった。この間、雷鳥の姿を見ることがで

きたのは嬉しかった。親子連れであろう。褐色の中にまだらに白い羽毛が混じり、私たちのすぐ近くにまで来ても恐れる様子はなかった。あまりの寒さに、またの機会を期すこととして小仙丈岳に向けて歩み始めた。登り下りを繰り返して小仙丈岳に至ったが、このころには霧も晴れ、遮るもののない高所からの眺めは素晴らしかった。

今回は、秋の彩りを求めた山行である。南アルプスでも大きな山のひとつとされる仙丈ヶ岳は、氷河期に形造られた大きなカールの地形を残している。山はだ彩りを増していたが、錦秋の秋には少し許り間があつた。とはいえ、空気は澄み山々の気は雄大で、北沢峠を隔て対峙する甲斐駒ヶ岳が眼前にそそりたち、左右に鋸岳と魔利支天、その奥に地藏岳・薬師岳・観音岳の鳳凰三山、更に遠くに八ヶ岳の山塊を望むことができ、心身共に自然が持つ素晴らしさを満喫することができたのである。

この年、盛夏の八月には同じく南アルプスの北岳・間の岳・濃鳥岳を縦走した。いずれも三〇〇〇米を超え、わが国を代表する山々



である。晩夏には雁坂峠から秩父の山に入り、九月の末には北八ヶ岳の天狗岳に登った。この時は秋色が深く、三〇糶米を超える雪もあり、あくまでも好空であつた夏山と全く異なる様相を呈していた。

イタリアの朝ごはん

昭和四十七年卒

佐々木(遠野) 郁子

このところ年に一度位、夫と海外旅行をする。今年選んだのは北イタリアだ。暮らすように旅をしたいという夫の希望で、ミラノとコモ湖にそれぞれ五泊ずつ、キッチンが常備されている宿を選んだ。

そんなに高級でもなく、でもあまり汚いのもいやということでも高級クラスの所を選び、最後に少し高級のホテルに一泊して帰国するプランを作成した。

ミラノの宿は都心だけあって、回り階段のある二層式のコンドミニウムだった。ミラノのリナーテ国際空港についてタクシーで約束の場所に向かうが誰もいない。当然コンドミニウムの前にいてくれると思っていたのが、その人は中にいて、私達は部屋番号を知らされていないという状況で三十分ほどその建物の前で待った後、大声で何度かハローと叫んだところ、中から担当者が出てきた。私達は部屋番号を知らないから外にいてくれなくちゃと抗議しても謝るで

もなく全く意に介さない。私達が待たされた三十分は何だったのかと慥然としながら部屋に入ると、その担当者はさっさと各機器の説明をして書類にサインを求めてくる。ここで腹を立てても大人気ないかとサインをするとあつという間に消えていく担当者に、これがイタリア式かと少し唖然とする。

でも肝心の其の宿は想像していたよりも広く静かで快適だった。地下鉄の駅までの道沿いに自然食のお店も有り、不自由は全くなかった。洗濯機も食器洗い機もあり雨でぬれた傘を干すのにちょうどよいスペースもあつて便利だった。昼間は出歩いてばかりなので、結局窓を開けることもなく過ごしてしまつたが、キッチンも使いやすくて快適だった。

次に滞在したコモ湖畔の宿は、コモ湖に面したテラスが広く、滞在中ずっとテラスで写真のような景色を眺めながら食事を楽しむ事ができた。でも全て自炊なので、行動中のランチ以外は私が造らなくてはならない。ご飯が大好きなので、「ごはんですよ」を持って行ったが、すぐに食べ尽くし、そ

の後の主食はリゾット、パスタ、フォカッチャというイタリア式で過ごした。これがなかなか楽しかった。チーズとピクルスをアペタイザーに、驚くほど安いワインで始まる食卓は、日本でのように小鍋を多用する料理が多い献立に比べて簡単だ。メインは肉かお魚を焼いて、その上にいろいろアレンジしたソースをかけて終わり、

その他にはサラダとスープで十分だ。朝ごはんはさらに簡単だ。主にリゾットにすることが多かったが、スーパには煮込むだけいろいろな味のついたリゾットになるお米が売られていて、リゾットを煮込む間にサラダやスープを造ることが出来る。六月はちょうどアンズの季節だったのでデザートはフレッシュなアンズ。素晴らしい景色を眺めながら、テラスで戴く朝ごはんは最高だ。

自炊も悪くないと今回の旅でしみじみ思った。バターやオリーブオイルを多用することになった外食が続くと、次第に胃がもたれてくるが、今回はそれがランチだけだったので体調管理ができたのだ。この頃たくさんは食べられなくな

ってきた、という方々には特に勧めた。

北イタリアはスイスに近いので、簡単に車でサンモリッツに行くことができる。絵のように美しい場所、景色を見ているだけで言葉が出ないほど感動したが、後になつてなぜか臉に浮かぶのはコモ湖畔での朝ごはん。記憶は胃袋に直結しているのかもしれない。



昭和六十一年卒の皆様へ 同期会を開催しませんか



昭和六十一年卒

今井(清水)美代子

高校を卒業後三十年以上たちますが、いかがお過ごしでしょうか。年齢的に仕事が忙しい年代だと思いますし、専業主婦の方も子供に手がかかる方もいると思います。その中でも、この年になると高校時代が懐かしく感じている方も多くいると思います。

そろそろ、同期会を開催し、皆の顔をみませんか。

私の事を知らない方がほとんどだと思います。が、卒業アルバムをお持ちの方は是非共見て頂きたいです。高校の時とそんなに大きく変わっていないです。

私事ですが、小学校と中学校の同期会は毎年決まった時期に開催されているので、高校の同期会も毎年決まった時期に開催出来たら

と願っています。

私と一緒に幹事(呼びかけ人)になってくれる方を募集します。四月二十一日開催の同窓会総会にもご参加下さい。

どうか、宜しくお願い致します。

TEL 090-4373-9196

メール NQJ38767@nifty.com

最近山に凝っています

昭和六十三年卒

目黒(菊池)利枝



このところ中高年の「山や」が多くいますが、私も多聞にもれずその仲間入りをしています。

約八年前、立山から黒部ダムへ家族で観光した際、剣岳の凜とした佇まいに魅了され、この山に登りたいと決意を新たにしました。

高尾山から始まり、秩父、奥多摩、丹沢を経、八ヶ岳、日本アルプスへと猛スピードで突き進み、現在では冬山を楽しむまでとなりました。

写真は、五月の大山井岳(おてんしようだけ)。飛騨山脈にある山。長野県の大町市、安曇野市、松本市にまたがる常念山脈の最高峰。槍ヶ岳、常念岳、燕岳の交差点です。

私自身、体力も高度順応性も自信があり、最近、六十代の天狗と呼ばれている山男達と登山をしています。流石に、その方の体力は半端でなく、どんなに頑張っても付いていくことが出来ません。私は、八ヶ岳冬山のテントの極寒用シユラフの中、着込んでも寒くて殆ど眠れないのですが、その方は銀マットと冬用シユラフで熟睡していました。人間じゃ無い。そ

の代わり、下山してからの居酒屋での酒の量と速さは引けを取りません。

同窓会の多くの皆さんも、若いころ、今も登山を楽しんでいる方も多くいると思います。機会がありましたら、一緒に山に行きましよう。

先日、宮久保会長と同窓会の事で打ち合わせをした際、新田次郎の山岳小説の話で盛り上がりました。

会長より、今年の「同窓会の全国大会」高尾山へ行くと聞きました。私の得意の分野ですので、お手伝いをさせて頂きたいと返事をしました。

今後共、よろしく願います。



寄付者・会費納入者一覧

平成 30 年度中に寄附金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
尚、3,000 円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(31 年 1 月末日)

寄付者名一覧	
◆旧職員	内生蔵朋子 (池田)
岡本ゆり子 (滝口)	田中 正明
北村 正生	中野 洋一
前園 実	◆昭 37 卒
◆昭 26 卒	松垣 宏道
新海 節子 (武藤)	勝部 邦彦
◆昭 27 卒	寺村 光司
大井 弘子 (市川)	宝珠山邦子 (近藤)
川畑千枝子 (小森)	宮下紀恵子
木村 弘子 (川島)	山崎 政利
◆昭 28 卒	◆昭 38 卒
霜田 恒彰	小野 勲
早船 セツ子	小長谷弘子 (矢沢)
◆昭 29 卒	◆昭 39 卒
関 紀子 (入江)	荒川 正
橋田美智子 (山口)	柴田 芳枝
◆昭 30 卒	谷口 雅紀
大島 美智子 (裕)	中山 康之
◆昭 31 卒	◆昭 40 卒
小川 力洋	秋山 浩一
加藤 慶子 (純浦)	井上 芳子
木村 隆	小山由記子 (吉田)
高尾 和子 (杉本)	杉浦 重治
高橋 元彰	米本 栄子 (松原)
三田 昌男	◆昭 41 卒
山本 越子 (福永)	尾道 郁代 (大橋)
◆昭 32 卒	杉 泰子 (池村)
金沢 英夫	溝口 進一
野野 友麿	◆昭 42 卒
佐藤 元是	唐木 千晴
浜田 和男	菊池 武博
◆昭 33 卒	田所 徳文 (浜田)
西村 哲郎 (小寺)	米谷 省吾
◆昭 34 卒	皆川 和実
江守 雅美 (梅田)	◆昭 43 卒
永田 正博	湖山 均
村木 豊彦	鈴木 幹夫
◆昭 35 卒	◆昭 44 卒
五十嵐光俊	加藤 和子 (堤)
友保 雄南	島田 和雄
久部 佳子 (立川)	◆昭 45 卒
能州 良彦	金子 信子
森 正樹	金澤 健二
◆昭 36 卒	草野 達雄
我妻 真典	仙谷 剛
岩井 和子 (大野)	中村恵太郎
	宮久保 渡
	山口 義朗
会費納入者名一覧	
◆昭 24 卒	◆昭 46 卒
井上 早苗 (阿部)	笹山 幸子
高木 芳江 (高木)	◆昭 47 卒
堀田 恵津 (山田)	佐川 海道
◆昭 27 卒	佐々木郁子 (遠野)
太田 きよ (太田)	久保田郁子 (加藤)
大塚 元子 (蟹江)	◆昭 48 卒
児玉 恵子 (児玉)	本多 和子 (国分)
酒井 美代子	◆昭 49 卒
	奥山 房男
	◆昭 51 卒
	萩谷 忠
	渡辺 陵子 (木村)
	◆昭 52 卒
	門馬 宏子
	◆昭 55 卒
	浅野 雄一
	新井 清一
	浦野 良一
	◆昭 56 卒
	武智 弘英
	◆昭 58 卒
	旗野 敏弘
	今井美代子 (清水)
	◆平元卒
	横山 信夫
	◆平 5 卒
	高橋 康隆
	◆平 11 卒
	吉田 宗弘
	◆平 16 卒
	糸岡 紗央里 (三橋)
	糸岡 達也
	◆平 22 卒
	高崎 さつき
	手島 紀子 (加藤)
	林 陽子 (三井)
	藤原 淑子 (荒川)
	橋 和子 (塚田)
	岩松 英子 (足立)
	小林 洋子 (庄司)
	坂川 康子 (池辺)
	中村 弥生 (池辺)
	藤井 洋子 (池辺)
	◆昭 29 卒
	瀬沼 啓介
	百野 啓介
	星 直正
	山内 義雄
	◆昭 30 卒
	緒方 素之
	加藤 晴生 (佐藤)
	棚瀬 妙子 (山崎)
	中川 貴子 (河野)
	長縄 信孝 (徳永)
	葉山 素子 (徳永)
	三谷 一郎 (徳永)
	山崎 知子 (徳永)
	若木 康孝
	◆昭 31 卒
	磯山 彰
	山下 京子 (小川)
	小林 啓子 (小川)
	鈴木 やす代 (小川)
	西岡 照男 (小川)
	二瓶 恵美子 (佐拔)
	松居 晃 (釘宮)
	山田 和子 (釘宮)
	◆昭 32 卒
	小西 圭子 (城)
	津坂 敬子 (石神)
	◆昭 33 卒
	伊藤 康晴
	小林 清明 (田中)
	諏訪 依子 (田中)
	中河 健男 (田中)
	◆昭 34 卒
	浅利 拓哉
	植山 榮次郎
	乙部たみ子 (新名)
	折本 輝子 (増田)
	島 節子 (島田)
	車田 壹子 (日野)
	古林 徹
	小柳 丹
	三木 桃子 (竹谷)
	森本 紘子 (太田)
	山北 宣久 (泉)
	渡部 葉子 (泉)
	◆昭 35 卒
	池辺 弥生 (星野)
	糸井 敏子 (清水)
	大高 勝子 (関)
	清水 幸明 (山本)
	永沢 治子 (山本)
	難波田久子 (土井)
	三浦みさ子 (江島)
	山本 一智 (高橋)
	◆昭 36 卒
	奥村 誠
	倉持 俊義
	寺尾 ヒロミ
	真部 千子 (滝沢)
	◆昭 37 卒
	今村 春江 (星)
	大出 洋子
	小黒 由明
	小澤 直子 (山野)
	鈴木 多可子 (浅賀)
	高橋 悦子 (奥山)
	永井 良子 (樋口)
	南方 洋子 (富田)
	橋立 昭武 (庵原)
	橋本志津子 (庵原)
	牧野 進
	茂野 昭雄
	山口 洋子 (上野)
	渡辺 光寛
	◆昭 38 卒
	太田 和子 (豊田)
	小山 亮代 (関)
	鎌倉 博子 (橋場)
	桜井 昭子 (筒山)
	谷口 昭夫 (大木)
	番場 操子 (興津)
	◆昭 39 卒
	宮澤 博子 (興津)
	上野美江子 (会田)
	大橋いつ子 (大山)
	北田 照子 (黄鳴)
	能州 慶次
	盛岡 治英
	◆昭 40 卒
	相澤 妙子 (戸川)
	内田 淳子 (青木)
	大西 政男
	海和 秀男
	斎藤由紀雄 (栗嶋)
	齊藤 紀子 (藤村)
	澤田 孝子 (藤村)
	篠崎 美幸
	島田 敏弘
	清水 幸明 (飯田)
	相馬久美子 (飯田)
	橘 明
	寺上 洋子 (小原)
	◆昭 41 卒
	青木 紀子 (五十嵐)
	井沢 弘美
	井村 忠
	岩崎 淳 (村越)
	内野 富雄
	川添奈津子 (高倉)
	坂井 右紀
	杉山 雅之
	鈴木 正博
	瀬崎 励子
	谷崎 三男 (近藤)
	原 淑子 (近藤)
	廣瀬 文生 (三谷)
	横田代志子 (高田)
	渡辺 恵美 (高田)
	◆昭 42 卒
	植原美年子 (川田)
	橘川 道雄
	櫛田 照良
	佐岡 まさみ
	菅 完治 (齊藤)
	高野 一義
	増田 恵一
	石川 明枝 (石川)
	◆昭 43 卒
	遠藤 正夫
	梶野千恵子
	加藤和子 (大久保)
	豊野 英正
	中原 幸子 (黄鳴)
	中村 良憲
	山邊 光久
	秋谷 実
	◆昭 44 卒
	加藤 篤子 (内藤)
	戸部 実
	松山さだ子 (小山)
	村上 恵一 (塚原)
	◆昭 45 卒
	太田 克朗
	金坂 吉雅
	小林 正夫
	高市 敏雄
	出川 敬
	◆昭 46 卒
	小室 良治
	藤堂 順子
	◆昭 47 卒
	秋元 雅則
	柿沼 好明
	武田 正敏
	丹下 薫
	長谷川教子 (高倉)
	堀田 睦夫 (赤沼)
	◆昭 48 卒
	遠藤 清孝
	柏 英明
	斉藤 明良
	本田 秀子 (佐藤)
	須賀 福子 (牧野)
	藤田美智子 (関口)
	◆昭 49 卒
	秋山 真美 (小林)
	石井徳太郎
	上野 一成
	川島 清次
	辻 薫
	横山久美子
	◆昭 50 卒
	梶 友寿
	永井すま子
	渡邊 貴信
	◆昭 53 卒
	中沢香代子 (近間)
	◆昭 55 卒
	大島さと子
	金子 政弘
	戸部 鉄郎
	伊藤 信子 (原)
	宮原 里美 (錦木)
	◆昭 58 卒
	梓澤 秀昭
	林 英子 (熊谷)
	本澤かほる
	◆昭 59 卒
	千田二仁江 (樋口)
	◆昭 60 卒
	内田 明美 (内田)
	◆昭 61 卒
	金澤 祐
	◆平 5
	雨宮 直子
	◆平 11 卒
	高橋 美法
	◆平 27 卒
	佐藤 捺美
	◆平 28 卒
	鬼頭 侑子
	◆平 29 卒
	淡川 雄大

運営費にご協力をお願い

会活動活性化に向け、ご提案・ご寄付・年会費等
のお振込みを、ご協力お願い申し上げます。

平成30年度 総会資料

都立向丘高校同窓会

平成30年4月22日(日)

於「源気丸」

《報告事項》

[事業報告]

平成29年度分

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1 役員会(幹事会)

H29年4月16日(日)

会計監査会 6名参加 於 源気丸

9月10日(日)

臨時役員会 13名参加 於 源気丸

11月19日(日)

やよい企画会議

10名参加 上記終了後元PTA会長との懇親会

14名参加 於源気丸

2 総会/懇親会 於 駒込「源気丸」

H29年4月22日(日) 総会12:00～12:30

報告事項・決算・事業計画・予算案、

役員案すべて、満場一致承認

懇親会12:30

自己紹介などで多に盛り上がりしました。

70名参加 会報28号5項参照

3 研究活動(全国大会)、向陵祭

H29年5月28日(日)

埼玉県川越大会12:00～15名参加

於 市内レストラン 会報28号5項参照

9月9日(土)～10日(日)

向陵祭に写真作品を出展 於 母校3階会議室

「田中・小川氏」土・日曜日にOB

・役員参観あり、5名。

4 ホームページの充実について

①実務打合せ

(メンバー宮久保・仙谷・目黒・椎名)

3回開催

5 会報関係について

H29年11月19日(日)

会報企画打合せ会 11名参加 於 源気丸

H30年 1月13日(土)

「やよい」編集会議 7名参加 於 源気丸

2月13日(火)

「やよい」校正 2名参加 於 タカセ

3月6日(金)

卒業予行会に配布できるよう母校に搬入した。

1200部(在校生750、新入生250、学校等)

6 渉外関係

H29年 4月 9日(月)

入学式に宮久保会長・小川名誉顧問と

田中相談役が参列した。 於 母校体育館

5月20日(土)

PTA主催の教職員歓迎会

宮久保会長、仙谷幹事長参加

於 香川栄養大学「松柏軒」

11月25日(土)

PTA会長OB会主催の懇親会

宮久保会長・小川名誉顧問参加

於 香川栄養大学「松柏軒」

H30年3月9日(金)

卒業式準備会に宮久保会長が卒業生に挨拶をした。

3月10日(土)

卒業式に宮久保会長と小川名誉顧問

・田中相談役が参列した。 於 母校体育館

3月10日(土)

PTA主催の卒業式を祝う会に尾道副会長、仙谷幹事長

浦野・浅野両副幹事長が参加した。 於 上野東天紅

学校運営協議会に、宮久保会長、田中相談役参加、年3回

70周年記念講演及び祝賀会

講演 9月29日(金) 午後2時 文京シビックホール

祝賀会 9月29日(金) 午後6時 上野東天紅

会報28号4項参照

8 卒対関係

H30年3月10日(土)

第68回卒業生309名(卒業生全員)について、入会記念品

としての個人用特注印鑑を予行日に各組担任先生からお渡し

しを戴いた。

[決算報告]

《審議事項》

[事業計画]案 平成30年度分

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

1 総会・懇親会開催の件

会報 27号1頁参照①H30年4月22日(日)

2 全国大会・やよい会 長野県松本大会開催の件

会報 27号1頁参照②H30年5月27日(日)

3 ホームページの充実

ホームページを充実させるため、努力をします。

①同窓生の同期会・クラス会・クラブOB会など

多くの情報を戴き、発信します。

②既発行分の「やよい」の掲載をします。

③卒業写真など、掲載していきます。

4 向陵祭参加とホームカミング開催の件

やよい28号1頁参照③

向陵祭H30年9月14日(土)～15日(日)

5 同期会・クラス会等への通信費の助成、各期の住

所をおしらせします

同期会開催へ2万円を助成。クラス会・クラブOB会

にも5千円助成。報告文(会合の集合写真等を添えて)

を受け取り次第、代表幹事の指定口座宛お振込致し

ます。宮久保会長宛速やかにメールもしくは郵送して下

さい。住所については、個人情報保護を重視し、各期

の幹事3名による「同窓会活動以外には使用しない旨

の誓約書」(自筆による住所・氏名・押印)をPDFで

会長宛てにメール。それを確認後、住所録を送ります。

6 広報誌の発行と発送

(会員相互の意思の疎通を図るため)

平成31年3月に「やよい」29号発行の予定

(会員・クラス会・同期会等の適切な投稿を歓迎)。

原稿締め切りは1月中旬とする。

7 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セットを贈呈する。

8 年会費、寄付金ご協力のお願い

新卒者の入会金の始どは会報関係に充当。

年会費は1口¥1,000～¥2,000程度運営費としてご協賛を

お願い致します。

年会費込み3000円以上の送金は寄付金扱いと致します。

9 80周年準備会

創立80周年に向け、学校及び在校生に向け、記念になる

ものを送ります。具体的には、学校及びPTAと相談して

進めます。今年度より、毎年予算を20万計上します。

10 次期定期総会の件

やよい29号紙上に発表予定

[予算]案 左記予算案のとおり

平成29年度会計報告及び平成30年度予算

都立向丘高等学校同窓会
平成30年4月22日

	29年度決算	30年度予算
収入の部	金 額	金 額
入会金(⑧8,000円)	2,448,000	2,200,000
年会費(含寄付金)	1,018,000	800,000
総会懇親会費	148,000	100,000
全国大会会費	48,000	100,000
諸会費	28,000	0
雑収入	0	0
前年度繰越金	3,060,380	3,405,158
収入合計	¥6,750,380	¥6,605,158

	金 額	金 額
支出の部		
全国大会関係費	151,080	150,000
交通費	112,570	100,000
通信印刷費	162,489	200,000
会議費	168,843	150,000
総会懇親会費	223,800	200,000
催物関係費	13,860	50,000
慶弔費	0	100,000
研究活動費	106,539	100,000
振興助成費	60,000	100,000
会報関係費	1,800,000	1,800,000
渉外費	48,000	50,000
開発費	106,845	300,000
生徒激励費	0	100,000
卒対費	111,240	100,000
周年準備費	265,736	200,000
雑費	14,220	10,000
支出合計	3,345,222	3,710,000
次年度繰越金	3,405,158	2,895,158
総合計	¥6,750,380	¥6,605,158

ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座名 やよい会

通常貯金残高 ¥1,905,158 定期貯金残高 ¥1,500,000

上記の通り収支報告申し上げます。

平成30年4月22日

同窓会会長

宮久保 渡 ㊞

会計

尾道 郁代 ㊞ 笹山 幸子 ㊞

監査の結果誤りの無いことを認めます。

平成30年4月7日

監査

三田 昌男 ㊞ 櫻井 弘清 ㊞

同窓会役員名簿

平成 31 (2019) 年 1 月 20 日現在

顧問	新城 昇	歴代校長
"	池 永 武 昭	"
"	北 村 透	"
"	北 村 正 生	"
"	石 井 隆 夫	"
"	戸 谷 賢 司	"
"	前 園 実	"
"	関 根 茂	"
"	神 能 精 一	"
名誉会長	栗 原 爾	校 長
名誉顧問	小 川 力 洋	31 年卒
会 長	宮久保 渡	45 年卒
副 会 長	杉 浦 重 治	40 年卒
副会長兼会計	尾 道 郁 代 (大橋)	41 年卒
幹 事 長	仙 谷 剛	45 年卒
幹事長代理	中 村 恵 太 朗	45 年卒
副幹事長	浦 野 良 一	55 年卒
"	浅 野 雄 一	55 年卒
書記兼会計	笹 山 幸 子	46 年卒
書 記	佐々木 郁 子 (遠野)	47 年卒
"	今 井 美代子 (清水)	61 年卒
"	目 黒 利 枝 (菊池)	63 年卒
会計監事	三 田 昌 男	31 年卒
"	井 上 芳 子	40 年卒
西日本地区幹	高 尾 和 子 (杉本)	31 年卒
新潟地区幹事	小 山 由 記 子 (吉田)	40 年卒
仙台地区幹事	吉 田 恵 子 (吉田)	41 年卒
静岡地区幹事	増 子 明 美 (若尾)	31 年卒
茨城地区幹事	友 部 佳 子 (立川)	35 年卒
札幌地区幹事	恩 村 一 郎	46 年卒
事 務 局	山 下 一 郎	副 校 長
相 談 役	川 端 春 生 (三橋)	31 年卒
"	田 中 正 明	36 年卒

各期幹事

星 直正 29 年卒
 居村 正久 31 年卒
 友部 佳子 (立川) 35 年卒
 坂井 右紀 41 年卒
 谷嶋二三男 41 年卒
 戸部 実 44 年卒
 (minprutobeadress@gmail.com)
 粕谷 卓志 45 年卒
 大場 孝秋 46 年卒
 (spw99fy@key.con.ne.jp)
 佐川 海道 47 年卒
 斉藤 明良 48 年卒
 千田二仁江 59 年卒
 (10chidachan-fujie.10@ezweb.ne.jp)
 浅野 悠樹 61 年卒
 岩田 隆英 H6 年卒
 (iwatasana@gmail.com)
 横山 李孝 H1 年卒
 (soutakento@gmail.com)

クラブOB会世話人

軟式テニス部 谷嶋二三男 (41 年卒) f-tanisima@ac.auone_net.jp
 テニス部 長谷川広之 (51 年卒) h09089490725@mopera.net
 サッカー部 仙谷 剛 (45 年卒) tsuyoshi.senya@gmail.com
 フォークソング部 関本 知恵 (52 年卒) s.chie.tukushi@gmail.com

計

報

旧職員 井口 磯夫 S35 卒 久島 紗代子 H.29.9
 (旧姓 黒田)
 旧職員 坂元 弘幸 H.29.12 S35 卒 堀 恵子 H.26
 S25 卒 鍋島 愛子 H.29.6 (旧姓 三村)
 (旧姓 杉山)
 S27 卒 山本 雅子 H.30.3.4 S35 卒 不破 浩 H.29.10.26
 (旧姓 大庭) S38 卒 大森 道子 H.29.12.26
 S29 卒 小池 祥次 H.29.12.2 (旧姓 立石)
 S30 卒 前田 信子 H.30.4.4 S39 卒 神尾 周三七 H.29.9.3
 (旧姓 山本) S43 卒 三好 みち子
 S30 卒 向山 孝子 H.29.7 (旧姓 小林)
 (旧姓 長谷川)
 S30 卒 笹井 信一 H.30.3.6 S44 卒 横山 英一 H.28.11.7
 S30 卒 棚田 挨二 H.29 S45 卒 鬼沢 和義 H.29.9.11
 S30 卒 牧田 信行 S45 卒 一倉 康晃 H.30.1
 S30 卒 磯 武福 H.29.5 S46 卒 松山 信一 H.29.6
 S31 卒 堀江 幸子 H.29.1.21 S52 卒 淵元秀治郎 H.27
 S31 卒 大澤 正巳 H.28.7 S53 卒 森田 章彦 H.30.1
 S32 卒 櫻井 弘清 H.29.9 S56 卒 鈴木 正弘
 S33 卒 林 典子 H.29 S56 卒 有賀 清子
 (旧姓 宿谷) (旧姓 磯部)
 S59 卒 江崎 祐康 H.28.7.26

心よりご冥福をお祈り申し上げます。
 ご報告のありました方のみお知らせ
 しております。